

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
比較行動学		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
萩原 康夫	講師控室	yasuo.hagiwara	Teams 授業中に対応		
授業の目的・概要	ヒトの行動を客観的に観察する能力を養うために、さまざまな動物の行動を多角的な視点で分析・考察をすることを学ぶ。講義内容について同時双方向型のLIVE動画を通して理解し、フィードバックと意見交換などを行い、動物の行動についての科学的観点からの理解を深める。				
学習上の助言	講義資料 (PDF 資料) を前日までに配信するので、講義前に精読しておくこと。講義中に与えられた考察の時間中は真剣にその課題を考察し理解を深めること。授業前に提示する課題 (事前課題) は受講するまでに、授業後に提示する課題 (事後課題) は指定された日時までに実施・提出すること。				
教科書	特定の書籍を教科書指定しない。ただし、講義前に配信する講義資料 (PDF資料) を使用する。				
参考書	キャンベル生物学 原書11版 /監修・翻訳:池内昌彦 他 /丸善出版 (2018)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	動物の行動を理解する 4 つの視点を説明することができる。				HSU(1)(2)(5)(6)
②	生得的行動と習得的行動について概説できる。				HSU(2)(5)(6)
③	動物たちにみられるコミュニケーションの例を列挙できる。				HSU(2)(5)(6)
④	利他的行動と包括適応度について概説できる。				HSU(1)(2)(5)(6)
⑤	短期的記憶と長期的記憶について概説できる。				HSU(2)(5)(6)
⑥	動物の行動と神経系の関連を概説できる。				HSU(2)(5)(6)
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	導入①: ガイダンス、生物とは何かについて学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
2	導入②: 行動を理解するための視点について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
3	生得的行動と習得的行動について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
4	生得的行動の例について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
5	経験による生得的行動の変化の例について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
6	行動とコミュニケーションについて学習する	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
7	動物に見られる様々な配偶行動について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
8	利他的行動と包括適応度について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
9	習得的行動の例について学習する	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
10	馴化と鋭敏化について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
11	連合学習と古典的条件付けについて学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
12	オペラント条件付について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
13	短期的記憶と長期的記憶について学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
14	訓練としつけについて学習する。	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
15	講義の内容についてのまとめ	同時双方向型授業	事前配信資料の精読。事前・事後課題の実施。	4	
試	筆記試験は実施しない。評価は授業後の課題で実施。				

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	30	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	40	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後に行う事後課題（各回 10 点満点で採点し、合計 150 点満点を 100 点に換算）で統括的評価を行う。なお、提出日時を過ぎてからの事後課題の提出は原則認めないし、受け取りもしない。				課題については原則翌々回の授業までに解説を行うが、講義で説明できない回については Teams にて解説資料を掲載する。。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
<p>受講する際の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考察の時間は能動的に実施すること。</li> <li>・ 指定した参考書以外にも「動物行動学」に関する書籍を見つけ出し精読するほかに、インターネットや新聞などをみて動物行動学に関する記事を意識して読むようにすること（これらの活動時間は各週学習時間の 1/4 程度、全体として 15 時間程度とする）。</li> <li>・ Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</li> <li>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</li> </ul>							